

多文化共生プロジェクト



ประทับใจ
プラタブ

幾千もの足跡とそこから見た空の色

2022 / 1 / 6 (木) ~ 9 (日)

展示：各日 11:00 ~ 17:00

パフォーマンス：1/9 (日) 15:00 ~

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ アトリエ

ประทับใจ - プラタブ - 幾千もの足跡とそこから見た空の色

チャニダー・パンヤネラミッディー 翻訳：江原由桂

【ランカオ、このプロジェクトのきっかけ】

2018 年、4 人のタイ人アーティストが日本人アーティスト 4 人と多くのプロフェッショナルなチームスタッフと共同制作を行う為に、富士見市を訪れた。その 1 か月間、わたしは、彼 / 彼女らの考え方、プロダクションチームの仕事のやり方、人々の日常に芸術を溶け込ませるべく活動するアーティストの努力など、身の回りのことを観察していた。そして、この劇場との関わりを感じる富士見市の人たちの気持ちは、まるで芸術は、年齢関係なくすべての人たちにとっての友であるかのようなだった。

この感心と感動がわたしの心を突き動かし、日本の繊細でありながら確固とした文化、そしてアーティストの成長についてもっと学びたいと思わせた。タイに帰国して間もなく、わたしはなんの躊躇もなく日本語の勉強を始めた。それから京都で日本語を学ぶ為に再び日本へ戻ってきた。

京都滞在中もランカオのメンバーとは定期的に連絡を取り合っていた。そして、わたしが日本にいるという情報は山下陽子さん（国際交流基金アジアセンター）にも届き、彼女はもう一度わたしにキラリふじみに戻って、この小さなプロジェクトを、温かいランカオメンバーと共同制作する大切な機会を与えてくれたのだ。

ランカオとは？

キラリふじみ × 東南アジア＝舞台芸術コラボレーション vol.1 日本・タイ共同制作

『หลังเขา ランカオ - 私たちの森』

撮影：松本和幸

2017 年からキラリふじみと東南アジア各国との舞台芸術コラボレーション・プロジェクトを国際交流基金アジアセンターとの共催により 3 ヶ年にわたって行いました。その第 1 弾が『หลังเขา ランカオ - 私たちの森』。

当時、キラリふじみのアソシエイト・アーティストだった白神ももこを中心に、日本とタイからコンテンポラリー・ダンス、伝統舞踊、演劇、音楽と異なるジャンルで活動するアーティストが集まって、共同で作品創りに挑みました。



構成・演出：白神ももこ コンセプト：カウィン・ビチックン、チャニダー・パンヤネラミッディー

音楽：長尾晃司

出演：白神ももこ 北川結 泉秀樹 長尾晃司

ワンナサック・シリラー カウィン・ビチックン

チャニダー・パンヤネラミッディー アピチャヤー・トリーチャン

【このプロジェクトのアイデア】

チャニダー・パンヤネラミッディー 翻訳：江原由桂



今回のプロジェクトの開始時、わたしは白神ももこさんと自分たちの興味や語りたいことについて、さまざまな方向で話し合いをした。その中で白神さんは、開発予定がささやかれている富士見市の、びん沼自然公園について取り上げ、わたしたちは様々な物事存在と消滅について話しはじめた。そしてそれが、キラリふじみの向かいにある大きな商業施設、今の人たちが目的地とし、便利な場所に建てられている、ららぽーとの出現についての話題になった。過去にはこの場所は、当時の人々にとっての思い出の場所でもあったのだ。

「思い出と絆の場所」このメッセージを元にわたしたちは、様々な職業、年齢、興味を持つ人たちをリストアップしてインタビューの協力をお願いした。

ただし、彼らには共通点があり、それは富士見市に思い出があるということだった。

インタビューは、ららぽーとからスタートして、それから思い出の場所、学校、水路、焼き工房、蕎麦屋などたくさんの場所を散策しながら行った。散歩しながらお話する間、頑張って思い出す必要もないほどの沢山の小さな物語が逆に自然に語り出されていた。ららぽーとに近い周辺地域だけでもどれほど人々に多様で美しい経験を与えてきたか。もしわたしたちが考えなければきっとこれらの小さな物語の声には、気付かないだろう。

ららぽーとになる以前の土地には、無数の人々の足跡が刻印されていた。

そこには、わたしたちが覚えている限りは消されることのない記憶が刻み込まれた土があった。

【作品について】

この作品は、富士見市と関わりのある人たちの思い出を伝えるアイテムである。

みんなが語ってくれた多くの思い出や物語。今ではそれがぼんやりと薄れて、ほとんど見えなくなってるかもしれないけれども、その映像は思い出すたびに心の中ではっきりと鮮明に映し出されるのだ。

小さなスクリーンに映し出されているこれらの短い映像は、カウィン・ビチックン（タイのアーティスト、ランカオメンバー）によって編集された作品で、個々の記憶を投影している。

部屋の中央にあるドーム型のオブジェは、野村東央留さんの陶芸工房を訪れた際に、富士見市の土で作られたという花器を見て、その手触りからインスピレーションを受けたものである。

この街の土は、陶芸には適していない為、陶芸用の土として生まれ変わるために 40 年以上もの間、大事に育てられてきた。わたしは、時の旅を必要とする土と富士見市の人々の思い出とを重ね合わせた。

様々な場所に散らばった思い出はすべて富士見市の地にある。この土（思い出）で形作りして新しく生まれ変わらせれば、それはわたしたちの“器”になる。

映像の鮮明さを覆い隠すドームの側面、そして、ここにある多くの記憶のささやき声。ひとつひとつのささやきに注意し、耳を傾けることで、あなただけの“ปลาทู - プラタブ -”を見つけることができるだろう。



野村東央留さんの工房で作られた、
富士見市の土を使用した器。



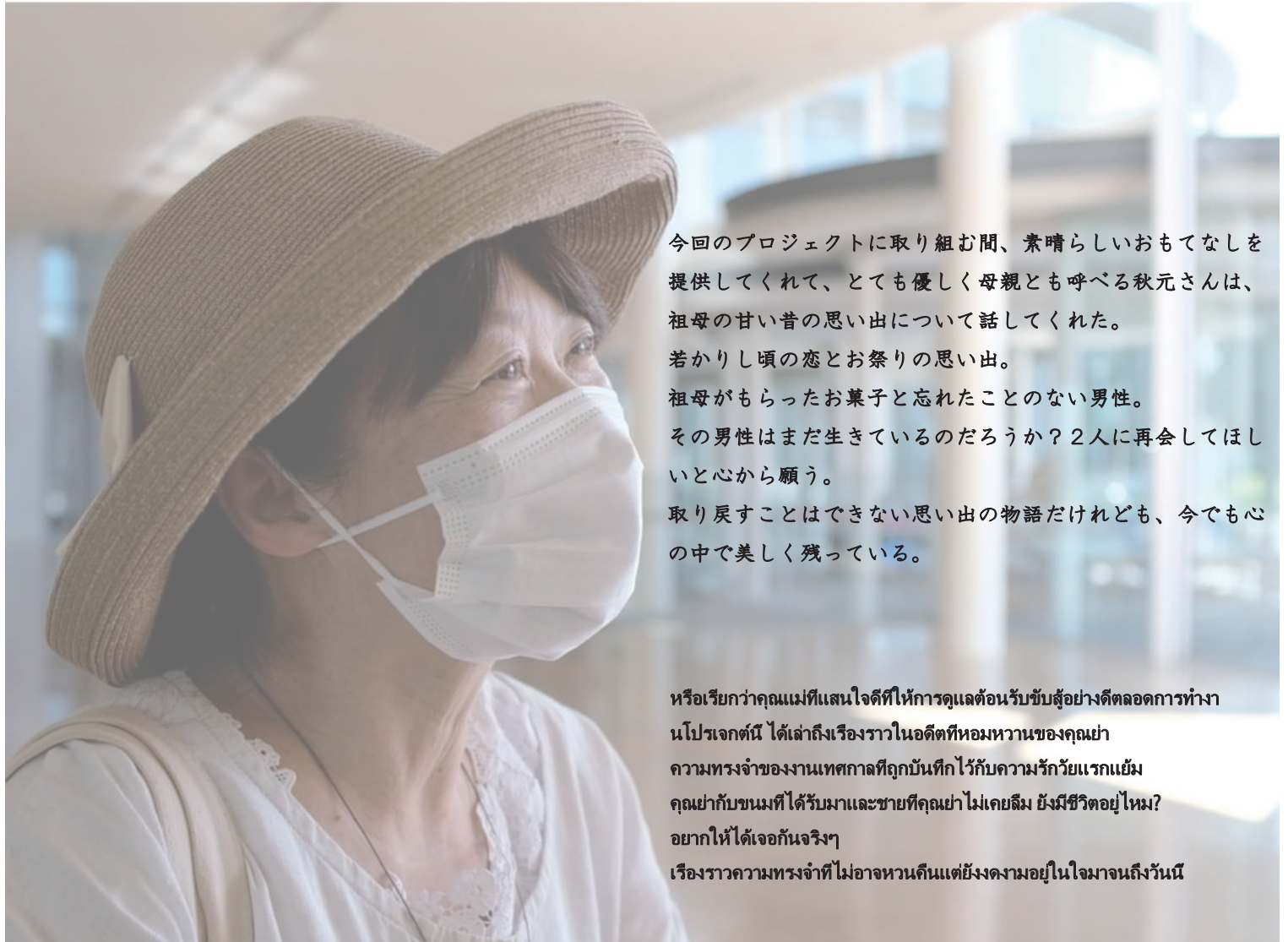
エピソードノート

2021.10.2 (土)

あきもと せつこ

秋元節子さん

この土地で生まれ、育った人。さまざまなきっかけで移り住んできた人。そして、館の主催事業を中心に、これまで、キラリふじみの活動に参加していただいた方々にインタビューを行いました。



今回のプロジェクトに取り組む間、素晴らしいおもてなしを提供してくれて、とても優しく母親とも呼べる秋元さんは、祖母の甘い昔の思い出について話してくれた。

若かりし頃の恋とお祭りの思い出。

祖母がもらったお菓子と忘れたことのない男性。

その男性はまだ生きているのだろうか？2人に再会してほしいと心から願う。

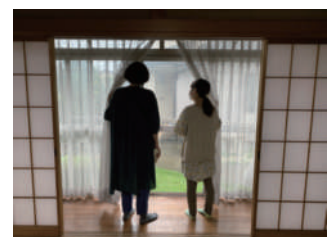
取り戻すことはできない思い出の物語だけれども、今でも心の中で美しく残っている。

หรือเรียกว่าคุณแม่ที่สนใจดีที่ให้การดูแลต้อนรับขับสู้อย่างดีตลอดการทำงาน
นโปเรเจกต์นี้ ได้เล่าถึงเรื่องราวในอดีตที่หอมหวานของคุณย่า
ความทรงจำของงานเทศกาลที่ถูกบันทึกไว้ด้วยความรักวัยแรกแย้ม
คุณย่ากับขนมที่ได้รับมาและชายที่คุณย่าไม่เคยลืม ยังมีชีวิตอยู่ไหม?
อยากให้ได้เจอกันจริงๆ
เรื่องราวความทรงจำที่ไม่อาจหวนคืนแต่ยังคงจางอยู่ในใจมาจนถึงวันนี้

白神's comment

この街に嫁いで来た時のこと、家族や義母のこと、朗らかにお話するその様子から人との繋がりをとても大切に思う人だと思う。秋元さんがまるで自分のことのように話す大正生まれの義母の初恋エピソードはドラマか映画のワンシーンのようだった。インタビューを通してその人の歴史やドラマに想いを馳せる。

(白神ももこ)



2021.10.3 (日)

にしむら たけいち

西村剛市さん



白神 's comment

『坂の下にはあんまりこれといった思い出などないかも』
と言いつつもぼつぼつと保育園に通っていたこと、
自転車に母が乗っていたこと、用水路の探検などについて
話してくれた。何故演劇を始めたのか、琵琶を始めた時の
こと、琵琶を始めたことでキラリふじみのスタジオを使い
始めたことなど。
用水路の探検は、地上に出たときにどこへ来たか分から
ないから怖かっただろうな。

才能と情熱溢れるミュージシャンである剛市さんの姿には
感銘を受けた。仕事を辞めて、現代では人気がなくなって
しまった楽器を継承していく為に練習を重ねる日々。
努力が実を結ぶかどうか、剛市さんはリスクを負って
戦っていかねばならない。

その選択した新しい道は、まるで彼が幼少期の頃にして
いた水路を辿って未知の場所に出る遊びのようなもので、
剛市さんの危険な遊びには刺激を受けた。

ทาเคอิซังเป็นนักดนตรีที่มีความสามารถและแพชชั่นที่น่าประทับใจ
การสละทำงานในอดีตและความทุ่มเทฝึกซ้อมเพื่อการสืบสานเครื่องดนตรีที่ไม่เป็นที่นิยมอีกต่อ
ไปในยุคสมัยใหม่จะออกมาสำเร็จสมตั้งใจหรือไม่ก็ความเสี่ยงที่ทาเคอิซังต้องฝ่าฟัน เส้นทางใหม่ที่เลือก
เปรียบเหมือนการเล่นวัยเด็กชอบเขา คือการมุดไปตามท่อระบายน้ำและไปโผล่ในที่ใหม่ที่ไม่มีใคร
การเล่นเสี่ยงๆแบบนี้ของทาเคอิซังช่างบันเทิงใจจริงๆ

しょうえいあん
2021.10.5 (火) 松栄庵店主 青木賢治さん
あおき けんじ



花火大会の美しさ、田んぼでのザリガニ捕獲、
数々の印象的で美しい過去の絵は、とっておくことができない。
伝えていきたいことは自分ひとりではどうすることもできない。
昔から受け継がれてきた蕎麦屋も同じである。
一緒に作ってきた絆と思い出は、この先も続いていくのか。
それはきっと作り上げてきた人による意思決定だけでなく、
将来、これらを受け取る人の心にもよるだろう。

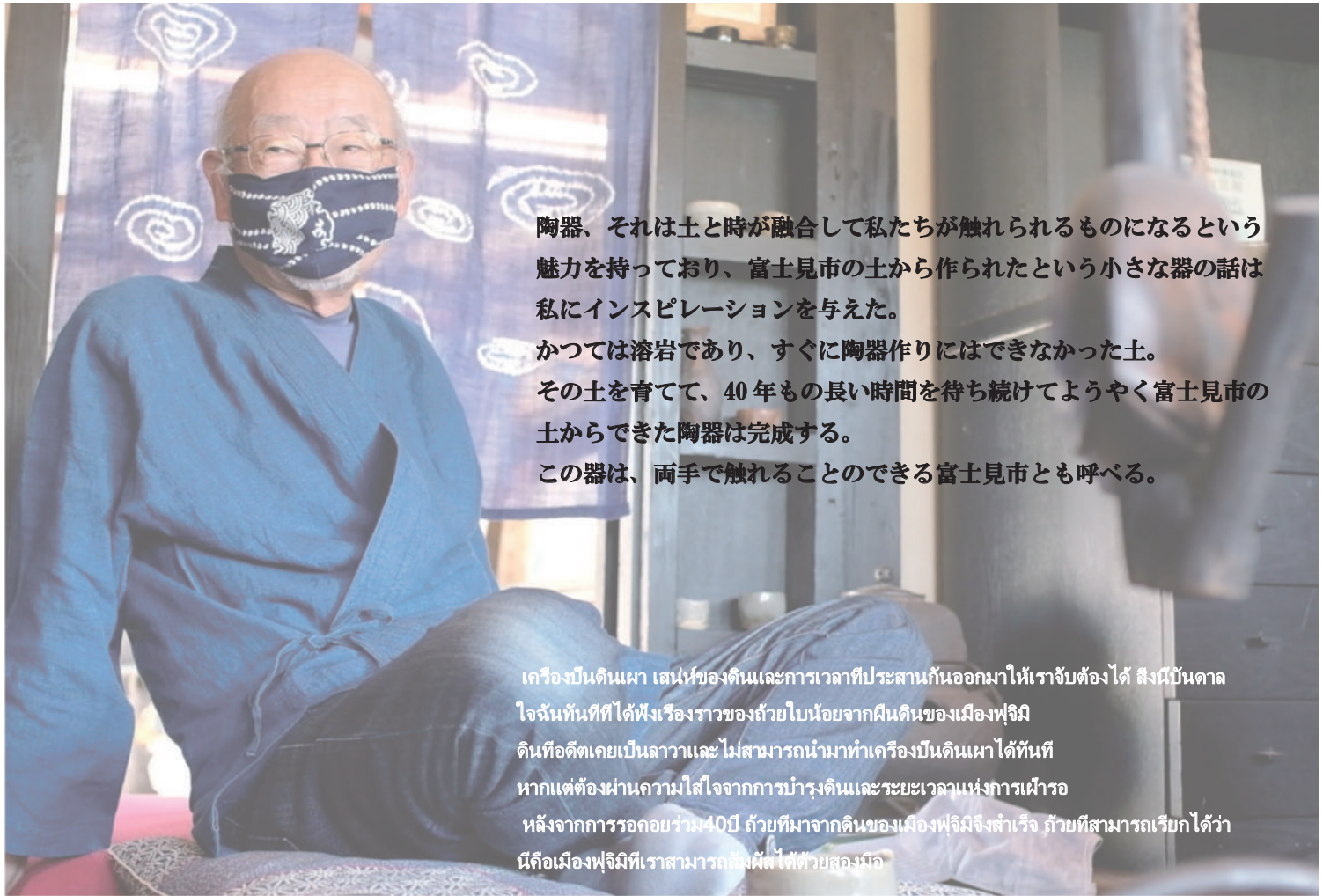
ความงดงามของเทศกาลดอกไม้ไฟ การเล่นจับปูตามคุนา
ภาพความงดงามในอดีตมากมายที่น่าประทับใจแต่ไม่สามารถกอดเก็บเอาไว้ได้
สิ่งที่ยากสานต่อคงไม่ใช่เรื่องที่เราฝ่ายเดียวสามารถควบคุมได้
เช่นเดียวกับร้านโซบะที่ถูกสืบสานต่อมาถึงปัจจุบัน ความผูกพันและความทรงจำที่สร้างขึ้นมา
สิ่งนี้จะถูกนำพาให้ไปต่อในอนาคตหรือไม่ คงไม่ใช่การตัดสินใจจากผู้สร้างมา
แต่ขึ้นอยู่กับใจของผู้จะรับไม้ต่อไปในอนาคตด้วย

1 番このあたりの移り変わりと一緒に歩んで来たお蕎麦屋さん。
時代が変われば人も変わりお客さんのニーズや店構えも変わる。
子どもたちや未来について、少し世代が上の方々とはまた少し感覚が違う
ようだ。ららぽーとになる前のエリアでお祭りと花火大会があったのが
とても楽しく印象に残っているそうなのと、
キラリふじみの駐車場辺りに洋食屋さんがあったことなど気になる情報も。

白神 's comment



のむら とおる
2021.10.6 (水) 野村東央留さん



陶器、それは土と時が融合して私たちが触れられるものになるという魅力を持っており、富士見市の土から作られたという小さな器の話は私にインスピレーションを与えた。

かつては溶岩であり、すぐに陶器作りにはできなかった土。

その土を育てて、40年もの長い時間を待ち続けてようやく富士見市の土からできた陶器は完成する。

この器は、両手で触れることのできる富士見市とも呼べる。

เครื่องบินดินเผา เส้นโค้งดินและการเวลาที่ประสานกันออกมาให้เราจับต้องได้ สิ่งนี้บันดาลใจฉันทันทีที่ได้ฟังเรื่องราวของถ้วยใบน้อยจากผืนดินของเมืองฟุจิมิดินที่อดีตเคยเป็นลาวาและไม่สามารถนำมาทำเครื่องบินดินเผาได้ทันที หากแต่ต้องผ่านความใส่ใจจากการบำรุงดินและระยะเวลาแห่งการเผารอ หลังจากการรอคอยร่วม40ปี ถ้วยที่มาจากดินของเมืองฟุจิมิจึงสำเร็จ ถ้วยที่สามารถเรียกได้ว่าเป็นคือเมืองฟุจิมิที่เราสามารถสัมผัสได้ด้วยสองมือ



陶芸家として自分と土、場所と向き合い、良い時間をたっぷり使うことに長けた人。電話がなくて成増まで行って会社に電話をかけたこと、雨が降ると鶴瀬駅のぬかるみが酷かったので駅まで長靴を履いて行き、駅で靴に履き替えたことなどが印象的だった。野村さんが40年以上かけて富士見市の土を育てて作った陶器は富士見の記憶を閉じ込めたタイムカプセルのようで今回の Jib の展示もそこからのインスピレーション。

白神 's comment

2021.10.6 (水)

しせき しんいち

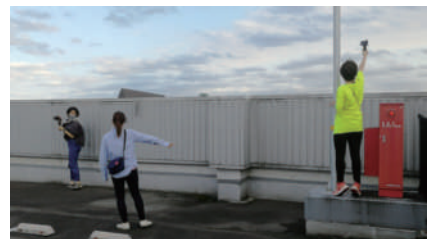
紫関伸一さん



白神's comment

ららぽーとができる前やキラリふじみができる前の
景色を写真で見せてくれた。

富士見市の行政に長く携わり、お蕎麦屋の青木さんが話した
『楽しかった花火の思い出』を作った人。子どもの頃のお話や
市役所に勤め始めた頃の話聴きながら穏やかで実直な生き
方を垣間見る。ららぽーとの屋上からの景色を見よう！
とみんなで上ってみたけど、高い壁に覆われてよく見えなかった。



目に焼き付くほど美しく楽しい花火大会を市民が懐かしと思う一方で、その裏には献身的な主催者の姿があった。

少ない人数の中で、彼らはすべての家庭に花火大会開催の協力依頼を行ったりと

街の人々の幸せの為に一生懸命に動いた。

しかし、そのお祭りも最終的にはただの記憶としてしか残らない。

昔は、家電屋さんの店頭で並ぶテレビ画面から様々な物語を聞いていたのが、今は、

紫関さんの過去の思い出や写真は便利なタブレットの画面を通して語られる。

ในขณะที่市はまちをまちでいきいきとさせるために、花火大会の開催を市民に呼びかけている。しかし、その裏には献身的な主催者の姿があった。少ない人数の中で、彼らはすべての家庭に花火大会開催の協力依頼を行ったりと街の人々の幸せの為に一生懸命に動いた。しかし、そのお祭りも最終的にはただの記憶としてしか残らない。昔は、家電屋さんの店頭で並ぶテレビ画面から様々な物語を聞いていたのが、今は、紫関さんの過去の思い出や写真は便利なタブレットの画面を通して語られる。

ห้างที่สะดวกสบายจริงๆแล้วอาจจะไม่ได้ถูกใจทุกคน หรือแม้แต่สิ่งที่ต้องแลกมาเพื่อให้มีห้างเกิดขึ้น
 ความสมดุลของธรรมชาติ สถานที่ที่มอบการเติบโตอย่างงดงามให้แก่มนุษย์ ห้างคงไม่ใช่คำตอบ
 หากว่าเรายอมให้พื้นที่สีเขียวอย่างสวนสาธารณะถูกเบียดเบียนไปด้วยความสะดวกสบายและทันสมัย
 สิ่งนี้จะพุ่มพักให้เด็กและผู้คนกระโจนวิ่งได้สุดขย้างไร้กังวล
 ทาตะซึ่งผู้ใจดีและมีมุมมองต่อความสมดุลย์ของวิถีชีวิต
 เป็นแรงบันดาลใจให้ฉันในการเห็นความสำคัญของการเติบโต

白神 's comment



白神 's comment

勤めていた富士見高校の周りの思い出やそこで出会った先生の影響で市民劇などに参加したことなどを物腰柔らかく話してくれた。

自転車で下校する学生たちを見ながら、
ららぽーとができたことで学生の放課後も変わったんだろうとか、
自分が学生だったらどうするかなとか。初日の出が綺麗に見えるスポットも近くにあった。



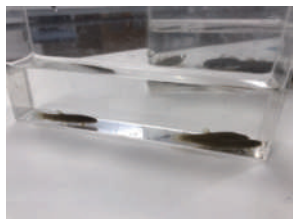
2021.10.8 (金)

やぎ みねこ
八木峰子さん



真夏に冷たい川の水に足を入れた時のような暖かさと涼しさ、
これが国語の先生に出会った時の印象である。八木さんは、
高校周辺の美しい畑と平野を見せてくれた。この町の若者たちが
成長していく場所。八木さんがここで勤務していた頃は、太陽や
自然の美しさをよく見ていたという。
それはごく普通のことかもしれないが、私たちはそれが変化した
時にその価値に気が付くのである。

ความอบอุ่นและเย็นสบายเหมือนการย่ำเท้าลงไปในธารน้ำเย็นในช่วงหน้าร้อน
คือความรู้สึกเมื่อได้เจอครูวิชาภาษาญี่ปุ่นท่านนี้
ยากิซังนำพาพวกเราไปดูความสวยงามและธรรมชาติของทุ่งนาที่รายล้อมโรงเรียนมัธยมปลาย
สถานที่เพาะปลูกหนุ่มสาวของเมืองแห่งนี้ให้เจริญงอกงาม
ในช่วงเวลาที่เธอประจำอยู่ที่นี้ การดูพระอาทิตย์
การเห็นความงามของธรรมชาติ ถึงแม้มันจะแสนธรรมดา
แต่เราจะรู้จักคุณค่าเมื่อเราได้เห็นความเปลี่ยนแปลงอย่างแน่นอน



もりやま よしかず
2021.10.9 (土) 守山義一さん

白神's comment

家の近くの用水路や自然から世界を見ている人。身近な自然の生物たちから学ぶことは、環境問題、歴史、そして近い将来私たちがどう生きるべきか。絶滅危惧種のホトケドジョウも見つかった。ららばーとの裏に卡ろうじて残る自然の生き物がある景色。

価値あるものを維持して継承していく心、守山さんとお話してすぐにそれをハッキリと感じた。この町の川から逃げ出した多種多様の繊細な魚たち。もし守山さんの愛情がなければ生きていけないだろう。水源は大きなショッピングモールのそばにあるが、それが返ってこれらの小さな生物にとって安全な場所になっている。守山さんが誇りに思う場所に触れられたことは、今回のプロジェクトにおいてとても素晴らしい物語を作ってくれた。

หัวใจของการทำนุบำรุงและการส่งต่อคุณค่า
เป็นสิ่งที่เด่นชัดจากโมริยามะซึ่งเป็นอย่างมากที่ที่ได้คุยกัน
พันธุ์ปลาที่แสนบอบบางและเบาบางไปจากแหล่งน้ำของเมืองแห่งนี้
หากขาดใจที่รักจริงของโมริยามะซึ่งแล้วคงอยู่ต่อไปไม่ได้ แม้แหล่งน้ำจะอยู่ใกล้กับห้างสรรพสินค้าขนาดใหญ่
แต่กลับเป็นพื้นที่ปลอดภัยของเหล่าสิ่งมีชีวิตตัวน้อย
การได้ลงไปสัมผัสกับพื้นที่อุดมสมบูรณ์ที่เขาแสนภูมิใจช่างเป็นเรื่องราวดีๆของการมาทำงานครั้งนี้จริงๆ

2021.10.9 (土) 手島 凛さん^{てしま りん}



ถ้าไม่ได้สัมผัสเองเราจะไม่สามารถรับรู้มุมมองของคนอื่นได้เลย
ชีวิตของรินลุงที่ได้เติบโตมาโดยต่างออกไปจากมาตรฐานของสังคม
นำพาให้เขาได้เจอประสบการณ์ต่างๆที่ต่างออกไป ผู้คนที่เข้าหา การใช้สถานที่
หรือแม้แต่การขนส่งที่ไม่เอื้ออำนวยให้ผู้คนเหล่านี้ รินลุงเป็นตัวแทนในการถ่ายทอดออกมา
เรื่องราวของรินลุงผู้ที่นั่งรถบัสในเส้นทางเดิมทุกวันกับบรรยากาศที่แสนธรรมดาของเมืองฟุจิ
ช่างกระตุ้นต่อมสงสัยในตัวของเราจริงๆ

もしも自分自身で体験しなければ、
私たちは他者の視点を知ることはできない。
凛君の育った環境は社会の基準とは異なっていて、
それは彼にさまざまな体験をさせた。
身の回りの人、場所の使い方、
彼らにとって不便な移動手段を通じて、
異なる視点を凛君が代表して伝えてくれている。
毎日同じバスの窓から富士見市の日常風景を見ている
という凛君のお話は、
自分自身に問いかけさせられた。

若者らしいドライな感覚で、学校にバスで行った景色を語る。
前芸術監督の多田淳之介さんの企画 ACT-F に3年目（テーマ『世界』）
から参加してラジオに挑戦して充実だった話もしてくれた。
そこで大人が大変そうだったね、ということも良く見ていた。
その場にいる人々の感情の機微を俯瞰した目で繊細に受け止めている。

白神's comment



キラリ☆ふじみ スタッフ

なかいで ちひろ
中出千尋さん

ก้าวแรกสู่คิวฟูจิคือความประทับใจที่ไม่อาจลืมเลือนจากใจจิชิโระซึ่งในวันที่ยังคงคิดถึง ในวันนี้แม้แต่ตำรวจไม่เคยได้ยินชื่อของคิวฟูจิเมื่อเทียบกับปัจจุบันแล้วอาจทำให้ใครคิดว่าเป็นคนละสถานที่กันอย่างเห็นการเติบโตของคิวฟูจิและการพัฒนาของย่านนี้เป็นสิ่งที่ทำให้เราเห็นความเปลี่ยนแปลงของเมืองในหลายๆมิติแต่ที่สำคัญคือภาพความทรงจำเหล่านี้จะยังคงอยู่ตราตรึงใจเรายังแวะเข้าไปจนถึง

千尋さんの心遣いに忘れられない感激を覚えたのがキラリふじみへの第一歩だった。道路がまだ曲がりくねっていた頃、警察でさえもキラリふじみの存在を知らなかった頃。当時と現在を比較すると間違いなく同じ場所だとは思われないだろう。キラリふじみの成長と周辺地域の発展は、街の変化というものを様々な角度から見せてくれる。大事なことは、私たちが思い出し続ける限りこれらの記憶は残り続けるということである。

あんど

安藤あゆみさん

キラリふじみを初めて訪れたのは、高校生時代に興味を持っていたパフォーマンスを観るためだった。この場所の雰囲気と落ち着く空間が印象に残り、彼女の思い出も蘇った。人々がしばしば進歩に目がくらんでいた間、あゆみさんは身の回りにある自然の優しさを大切にしてきた。騒がしくない街と自然、そして人々が集う劇場、これがこの富士見市の魅力である。

เด็กสาวมัธยมปลายที่ได้มาเหยียบคิวฟูจิเป็นครั้งแรกเพื่อดูการแสดงที่เธอสนใจ กลับได้ความประทับใจจากบรรยากาศและความสงบร่มเย็นของสถานที่แห่งนี้กลับไปกับความทรงจำของเธอด้วยในช่วงวัยที่คนมักติดกับความก้าวหน้า
อายุมิให้ความสำคัญกับความใจดีของธรรมชาติรอบๆตัวเธอ
ธรรมชาติของเมืองที่ไม่วุ่นวายและอาคารทางศิลปะที่อุ้มชูผู้คนเสน่ห์ของเมืองแบบฟูจิแห่งนี้

かわさき しょうたろう

河崎正太郎さん

ららぽーとの出現は多くの人にとって喜ばしいことではないかもしれない。富士見市の人々が持っている良いもの、それを守りたいという気持ちは、大阪出身の若い正太郎さんにもよく分かるのだ。

かつて大阪市民に愛されていた遊園地跡地に建てられたショッピングモール「ららぽーと EXPOCITY」

何かが新しく生まれるというのは良い点も沢山あるが、過去の思い出が心に残っている人たちにとっては、それらを新しいもので補うにはむずかしいのだ。

การมาถึงของลาล่าพอร์ตอาจไม่ถูกใจใครหลายคน

ความรู้สึกอยากปกป้องสิ่งดีงามที่เราอยู่ในมือของชาวเมืองฟุจิมี

โชทาโร่ หนุ่มชาวโอซาก้าเองก็เข้าใจความรู้สึกนี้ได้ดีไม่แพ้กัน ลาล่าพอร์ตเอ็กซ์โปซิตี

ห้างสรรพสินค้าที่สร้างขึ้นบนพื้นที่ของอดีตสวนสนุกขวัญใจชาวเมืองโอซาก้า

การเกิดใหม่ของบางอย่างเป็นเรื่องที่ดีในหลายๆแง่มุม

แต่ความทรงจำที่อยู่ในใจของผู้ที่ครอบครองภาพเก่าๆเหล่านั้นไว้ ย่อมเป็นความรู้สึกที่ยากจะทดแทน

Performance パフォーマンス

2022 年 1 月 9 日（日） 15：00

[出演]

チャニダー・パンヤネラミッディー

白神ももこ

北川結

長尾晃司（作曲・生演奏）

フィールドワークで集まったエピソードをもとに、生演奏を交えたパフォーマンスを行います。

入場無料

Jib と富士見あれこれ

白神ももこ

10月の初旬、2018年のランカオから再びJibが富士見市にそしてキラリふじみにやってきました。旅人が新しい風を運び、その土地の価値を新たに照らし出してくれるように、Jibはこの地に住んでいて劇場と関わりを持って来た人や、ららぽーとができる以前のこの街の景色の移り変わりを見て来た様々な人たちと会いました。

かれこれ10年以上この劇場に関わってきた私も新たにJibを通してこの街と出会い直し、私が見て来た風景もその年月分の記憶を重ねて来たことを実感しました。

それは、いつも見ていた景色とはまた違い、旅へ行った時のような目線でした。

劇場職員もJibに「会ってもらいたい、紹介したい、見てもらいたい場所」などをピックアップしながらこの街の資源や、何を大切に自分たちは仕事をしてきたのかを改めて気づく時間だったように思います。

インタビューを引き受けてくださった方々は私たちと一緒に歩きながら、思い思いにそれぞれの記憶や、まだ見ぬ未来について語ってくださいました。

普段は見逃して歩いてしまうような場所にも人の記憶が沁み込んでいて、私たちもそこにまた自分の記憶を更に重ねて歩いたのでした。

Jibやインタビュアーの皆さまと歩いて見た風景は、私のこの劇場での活動にこれから大いに影響を及ぼしていくと思います。

そしてこの作品を見た人の心のどこかにも記憶として重なっていくことを願っています。



スタッフ・出演

【構成・コーディネート】

チャニダー・パンヤネラミッディー
白神ももこ

【映像】

カウィン・ビチックン

【音楽】

長尾晃司

【通訳・翻訳】

江原由桂

【美術協力】

鈴木健介

【協力】

泉秀樹

ワンナサック・シリラー

アピチャヤー・トリーチャン

インタビューを受けてくださった皆さま

【パフォーマンス出演】

チャニダー・パンヤネラミッディー
白神ももこ

北川結

長尾晃司（作曲・生演奏）

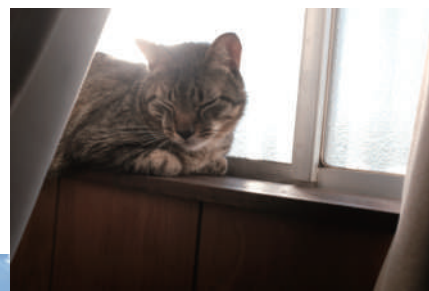
【制作】 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ

矢野哲史

中出千尋

安藤あゆみ

河崎正太郎



Jib と日タイごはんレポート 白神ももこ



きっかけは Jib がタイのご飯をみんなにごちそうしたい！
というところから。朝一緒に買い出しに行き、
早速タイカレーと揚げ鶏のサラダを作ってくれた。
揚げ鶏のサラダはライムが効いていてとっても美味しかった。
Jib にごちそうになったので、

せっかくだから日本料理をあまり食べた事のない Jib が
気になる日本の食材を私が調理することに。

Jib がピックアップしたのは、なんとおから。

そのまんまの「おから」を買ってしまったので、
大量のおからの炒り煮ができてしまった。

Jib はなんとも優しい味のおからを気に入ってはくれたが、
おからの炒り煮が冠婚葬祭並みにできてしまったので、
これはどうしたものか、？

考えた私たちは、早速次の日おからをタイ風に唐辛子やライム、パクチー、
ナンプラーなどを加えておからのガパオライスに。
(ガパオライスはタイの鶏そぼろ目玉焼きのせライスみたいな感じ)

結果は、美味！

結構気に入ってしまった私たちはガパオライスだけでなく
うどんにもアレンジを加え、ボリューム満点タイおから
まぜうどんを創作。

その他にも私が作った鶏ハムの人参サラダ

(和食というよりは白神風) を Jib がタイ風アレンジ。

日本食はシンプルなものが多いので他の国のアレンジ
をしても馴染みやすいのとタイアレンジにするとライムの
爽やかさと唐辛子で食欲が倍増するというのが分かった。



いただいた秋元さんお手製のポテトサラダも食卓に並ぶ

